

2025年1月・2月

159号

おせち料理



わざわざ桜のために
コルカタでこのおせちセ
ットを作ってくれて、
バブリーさんに
本当にありがとう!

おせち料理は、日本のお正月に食べる伝統的な料理で、お正月で一番大切な習慣の一つです。クリスマスが終わると、日本の家では新しい年の準備が始まります。多くの人が実家に帰り、元旦の朝に近くの神社に行って初詣をし、こたつに入って温かい料理を楽しみます。

おせち料理は、色とりどりの料理を二段、三段、または四段のきれいな重箱（お重箱）に入れたものです。重箱は重ねられ、元旦のテーブルの真ん中に置かれます。この料理は三日間、家族や友達と一緒に食べながら「お正月」をお祝します。これらの伝統は冷蔵庫がなかった時代から続いているので、おせち料理は甘いものや酸っぱいもの、乾燥したものが多く、お正月の間、長くもつようになっています。

お重箱の中にあるそれぞれの料理には意味があり、新年の願いが込められています。

- ・黒豆（くろまめ）- 健康を意味します。
- ・伊達巻（だてまき）- 勉強や知識を表します。
- ・栗きんとん（くりきんとん）- 甘く煮た栗で、黄色はお金を表します。
- ・かまぼこ - 赤と白の色が新年の朝日を意味します。
- ・昆布巻き（こぶまき）- 昆布で巻いた鮭で、「よるこぶ」に似ており、喜びや幸せを表します。
- ・数の子（かずのこ）- 鱈の卵で、「かず」は数、「こ」は子どもを意味し、子どもの増えることを表します。
- ・海老（えび）- 背中が曲がった海老は長生きを意味し、赤い色は悪いものを防ぐと言われています。
- ・田作り（たづくり）- 甘く乾燥した小魚で、豊かな収穫を願います。
- ・蓮根（れんこん）- 酢で漬けた蓮根は、穴がたくさんあって未来を見通しやすいことを意味します。
- ・紅白なます（こうはくなます）- 赤い人参と白い大根を使った漬物で、柚子の皮で包んでお祝いの気持ちを表します。
- ・ごぼう - 強い植物で、深い根を持ち、力や安定を意味します。
- ・鯛（たい）- お祝いの魚で、「おめでたい」に関係があり、骨を取るときに願いを込めます。

お雑煮（おぞうじ）は、お正月に食べる餅入りのスープで、みんなが集まって大切な食事を楽しむときに食べます。おせち料理を食べるときには、「祝い箸（いわいばし）」という特別な箸が使われます。

新しい年の幸せと健康を祈って乾杯しよう!

バブリー・チョードリー | 和訳: ロビンソン・ゴゴイ

明けましておめでとうございます!今年もよろしくお祈りします!



高橋瑞季さんのインタビュー

ベンガリ語話者の高橋瑞季さんは最近コルカタ生活体験について動画を作り、人気になっています。昨年印日文化祭に参加して下さって印日架け橋をもっと作ろうと希望しておられます。



自己紹介と学歴

高橋瑞季（たかはし みずき）と申します。2023年3月からコルカタで働いています。大学では南アジア地域研究を専攻し、ベンガル語を学びました。現在は修士課程に所属し、バングラデシュの教育課題について研究しています。

インドの経験

2019年2月、大学の短期留学コースの一環で初めてインドを訪れました。1か月半コルカタに滞在し、ジャドプル大学でベンガル語とベンガルの文化を学ぶプログラムに参加しました。その際はベンガル語を勉強し始めてからまだ1年ほどしか経っておらず、初めは他の人が何を話しているかほとんど分からず、怖くて友人や先生の後をただただ着いていくことしか出来ませんでした。しかし大学の先生方やジャドプル大学の学生さんたちが根気強く私を含めた日本人の学生たちと関わってくださったおかげで、1か月半の滞在が終わる頃には前よりも随分ベンガル語でコミュニケーションが取れるようになっていました。また、この経験を通じて、コルカタの人々の温かさに大変魅力を感じ、ぜひまた訪れたいと思うようになりました。

インド人やインド文化について

前の項目でも書いた通り、2019年に初めてコルカタに来た時には、本当にコルカタの人々の温かさに惹かれました。今でもよく覚えているのは、ジャドプル大学の学生さんたちと交流したことです。ジャドプル大学の学生の方々は、初めてインドを訪れた私や日本の友人たちがコルカタでの生活を楽しむことが出来るように気を配って下さいました。一緒に観光地を訪れたり、カレッジ・ストリートで地元の学生さんたちに交じてラッシーを飲んだり、大学のイベントで一緒にダンスを披露したり、授業後にチャイを飲みながらおしゃべりしたりしたのは本当に良い思い出です。この時の出来事が、私がベンガルの人々や文化をもっと知りたいと思うきっかけになったと思います。あれから5年経ちましたが、まだ何人かの学生さんとは連絡を取り合っています。

趣味

読書が好きです。本は、時代や国を問わずどんなところにも連れて行ってくれます。まるで「どこでもドア」のようだと思います。最近「フェルダ」の短編集を買って読み始めました。もっとも、まだベンガル語で物語を読むだけの力はないので英語で読んでいますが……。ぜひいつかベンガル語で読めるようになりたいものです。

海外でのいい思い出

自分の国の文化や慣習に意識的になることはあまりないものですから、日本での経験について何か書くのはなかなか難しいですね……。前の項目に関係したことを少し書くとすれば、今年、コルカタから日本に一時帰国した際、本屋に行ったら、日本で「文庫本」と呼ばれる大きさの本は、インドの本に比べて大変小さいことに気が付きました。スマートフォンよりも少し大きいくらいで、どこへでも持っていくことが出来ます。もしかすると、本がどこでも読める環境だったからこそ、私は読書好きになったのかもしれませんが。

日本文化とインド文化の違いについて

インドと日本との比較というよりはコルカタと自分が生まれ育った東京との比較ですが、コルカタの方が東京よりも、人と人との交流が密だと感じます。コルカタでは、露店でお茶を飲みながら見知らぬ人同士がおしゃべりしたり、赤信号で停止した際に隣同士になった車の運転手さんたちが窓を開けて雑談したりしている様子をよく見かけます。こうした光景は東京ではあまり見られないものです。きっとこうした交流の場が、コルカタの豊かな文化を育ててきた土壌になっているのだと思います。

四字熟語セッション



10月27日の夕方にクシュブー先生による「四字熟語」というオンラインセッションが行われました。四字熟語とは、4つの漢字で構成される熟語で、特に成語として用いられるものを指します。セッションの始めに先生が四字熟語の意味と一般的例を利用して構図と実用性を教えてくれました。

定義と機能を掴んだところで先生が難易度を少し上げて、よく出る慣用句を紹介してくれました。最後に四字熟語の問題用紙を渡してセッションで学んだことを補強し、生徒の知識を試しました。セッションの内容を応用できるように作った問題用紙でした。

今回のセッションも大変勉強になり、語彙と漢字の知識が広がりました。さらに、教科書ではなくリアルで使われている言葉がこれから役に立つでしょう。

アデシュ・クマル・サウー | 和訳：ハーシト・サハ

先生、おめでとうございます！



2024年はニガム先生がインドで日本語を教えて50周年を迎える年です。先生のご健康と幸せを心よりお祈りいたします！

2024年ビジャヤ・サンメラニで祝った伝説的な節目



毎年のように今年もNKKKSのメンバーは、11月16日にサラット・サミティで開催されたビジャヤ・サンメラニに集まり、温かい挨拶を交わしながら楽しい笑いと共に素敵な夕べを過ごしました。今年は私達の敬愛するニガム和子先生がコルカタで日本語を教え始めて50周年を迎えられたことをお祝いしました。プログラムはバブリさん、スマナさん、パピヤさん、そしてジョイタさんによる二曲の美しい歌声で始まりその後アヌパムさんの見事なアコースティックギターの伴奏に合わせて、他のメンバーによるグループソングが歌われました。学生達が作成したニガム先生の素晴らしい功績をまとめた動画も上映され、大きな拍手が沸き起こりました。先生は日本語学習者コミュニティの発展にかける真のビジョンとミッションを、いつも通りの愛情あふれる方法で語ってくださいました。私達は先生の偉大な功績を思い出し、インドと日本の関係強化への貢献で二度も表彰を受けられたことを思い出しました。先生にはNKKKS会長のバブリ・チョウドゥリさんから、全学生を代表して小さな愛のしるしが贈られました。最後にバブリさんが感謝の言葉を述べ、特別にニガム先生のために準備された美しい詩を朗読してプログラムを締めくくりました。最後に、おせんべいなどの美味しいお菓子を楽しみながら、来年もさらに大きな熱意を持って再会できることを心から願いました。

ルパシュリー・ビスワス | 和訳：アデシュ・クマル・サウー

2024年12月22日 | 楽しいNKKSピクニック



なぜなぜ

- クシュブ・アガルワル

いろはいろでも、不正ないろってなーんだ？



2024 11 月・12 月のなぜなぜの答
あんど

今後の
イベント

2025 年 1 月 18 日 (土)
午後 3 時

第 5 回日本語歌コンテスト

場：BITM

2025 年 2 月 2 日 (日)
午後 5 時

ビジネス日本語

～マラシリー・バドリ・ながむら

ミーティングリンクはメールで送信

有名な人を探してください

- チッショグポト・パイン

空欄を埋めて有名な日本人を見つけてください～

1. てんきよほうによると__めがふります。
2. あのひ、ともだちがいえにもどってこなかった。
だからけいさつはとりしら__をした。
3. __ __かんせんによってとうきょうからほっかい
どうまでいきました。
4. __ __ は はながながいです。

こたえ： _____ さん。

日本で最も長く在任した首相の一人で、2022 年に不幸にも
亡くなった人物。

有名な人を探してくださいの答え - 2024 年 11 月・12 月

いしぐろかずお
石黒一雄さん



ビデオを見るために QR
コードを使用してください！

日本のお正月



こちらへクリック

みずきさんの JU 訪問



こちらへクリック

BOOK POST

If undelivered please return to:
NIHONGO KAIWA KYOOKAI SOCIETY
2B, SHIVANGAN 53/1/2, HAZRA ROAD
KOLKATA - 700 019